

ファシリテーター・ワークショップ ファシリテーター・トレーニングC

-ファシリテーターに関する理論と実習の基礎的な講座

担当者	山口 真人（南山大学人文学部心理人間学科教授） 池住 義憲（南山大学非常勤講師）
概要	<p>「ファシリテーター」とは、学習者が自ら考え、学び、決定し、行動することを促進する人です。教育の分野では「生きる力」を育むことを目的とした総合的な学習の導入を契機として、これまでの座学的な“教える”教育から、自ら“学ぶ”教育への転換が重要視されています。また、国際協力の分野では、ブラジルの教育学者フレイレや、国際協力における参加型開発の提唱者チェンバースなどの多くの人々が、先進国の専門家が自らの技術を教えるのではなく、地域住民がエンパワメントしていく過程を専門家が促進していく、ファシリテーターとして関わることの重要性を指摘しています。</p> <p>様々な領域においてファシリテーターとして機能するためには、2つの態度が重要になってきます。1つは、ファシリテーターとしての教育者の態度、すなわち、学習者が発見し、自ら学ぶことを“促進する”役割としてのファシリテーターの態度です。もう1つは、グループ・ファシリテーターとしての態度、すなわち、学習者やメンバーが何らかの活動を行う際に、グループの人間関係を“促進する”機能を果たすファシリテーターの態度です。</p> <p>この講座では、ファシリテーターについて、理論と実習から学んでいきます。第1日目は「ファシリテーターとしての教育者」について主に焦点を当て、第2日目は「グループ・ファシリテーター」について主に焦点を当てる予定です。</p> <p>学校関係者、国際協力従事者、企業の研修担当の方、地域開発や地域運動・NPO活動を行っている方、自然教育や環境教育の分野の方、など、ファシリテーターとしての態度や関わり方にご関心をお持ちの方々に最適です。</p> <p>当センターでのファシリテーター・トレーニングの位置付けは以下の通りです。</p> <p>ファシリテーター・トレーニングA「アドバンス体験学習」 ラボラトリー方式の体験学習を企画・実施するファシリテーターについて扱います。</p> <p>ファシリテーター・トレーニングB「トレーナー・トレーニング」 グループの人間観海を促進するファシリテーターについて学びます。Tグループやエンカウンター・グループなどの受講経験が必要となります。</p> <p>ファシリテーター・トレーニングC「ファシリテーター・ワークショップ」 参加型トレーニングや体験学習など、学習者が自ら学ぶ教育的アプローチについて、理論と実習から学んでいきます。</p> <p>当センターでのファシリテーター・トレーニングの位置づけは以下の通りです。</p> <p>★ファシリテーター・トレーニングA「アドバンス体験学習」 ：ラボラトリー方式の体験学習を企画・実施するファシリテーターについて扱います。</p> <p>★ファシリテーター・トレーニングB「トレーナー・トレーニング」 ：グループの人間関係を促進するファシリテーターについて学びます。Tグループやエンカウンターグループなどの受講経験が必要となります。</p> <p>★ファシリテーター・トレーニングC「ファシリテーター・ワークショップ」 ：参加型トレーニングや体験学習など、学習者が自ら学ぶ教育的アプローチについて、理論と実習から学んでいきます。ファシリテーター・トレーニングA及びBに比べ、基本的・入門的な内容を扱います。</p>
日程	2006年6月10日（土）、11日（日）10:00～17:00
定員	30名
会場	南山大学 D棟
研修費	21,000円
講座報告 (アンケートより)	・ファシリテーションの技術ではなく、本質である心構え・理念のような所を学べてよかったです。 ・日々の教育活動に対する大きなヒントやアイデアをいただいたと思います。モチベーションが高まりました。